

会 議 録

会議の名称	平成 14 年度西東京市健康づくり推進プラン検討委員会 第 5 回会議
開催日時	平成 15 年 2 月 17 日（月）13：00 - 14：35
開催場所	西東京市保谷庁舎 東分庁舎地下第 2 会議室
出席者	（委員）野口委員長、石田副委員長、五十嵐委員、栗原委員、桜井委員、佐藤委員、藤吉委員、守田委員、谷戸委員、山極委員（以上 50 音順） （事務局）福本健康推進課長、尾林係長、大田係長、辻係長、寺嶋主査、阿部主任
議題	「西東京市健康づくり推進プラン」策定の進め方等
会議資料	（事前配布）資料 1 第 5 回委員会資料 資料 2 第 1-4 回検討委員会の検討結果のまとめ 資料 3 西東京市地域福祉計画中間まとめ（案）
会議内容	発言者の発言内容ごとの要点記録
発言者名 委員長	発言内容 1．開会 2．第 4 回検討委員会会議録について 特に変更の必要なしということにつき、情報公開コーナーにて開示する。
委員長	3．議事 ● 検討に先立って、本日が今年度最後の検討委員会となることから、本日、ご意見があったのにも関しては、できる限り反映するものとして、その具体的な反映方法等については、委員長、副委員長と事務局との協議で決めることをご了承きたい。ただし、あくまで本年度の検討成果の中間報告であり、不十分な点等については来年度さらにご意見を頂いていく考えである。
事務局	（一同了承） <地域福祉計画策定委員会からの指摘事項の報告について> 事務局より、「地域福祉計画策定委員会から、本健康づくり推進プランに対して指摘された意見」を報告。これに関する主な討議内容は以下のとおり。
委員長	● 地域福祉計画策定委員会から指摘された事項の半分以上は、表現上の工夫で対応可能。委員会としての合意が必要な「出生率を目標指標に位置づけるか」及び「企業・職域の取り扱い」につき意見を伺いたい。
副委員長	● 成果目標の年齢調整死亡率についての福祉計画策定委員会の指摘は、「現案で示しているデータが分かり難い」ということと理解している。東京都と同じような数値が出せないようであれば、他の手段を考える必要がある。
事務局	● 保健所の協力により、保谷と田無に分かれたデータでなく、西東京市として統合したデータを出すことが可能になった。ただし、年次変動があるため、過去 5 年間の中央値をベースラインとして示すなどの工夫が必要と考えている。
副委員長 事務局	● 東京都と西東京市のデータの取り方は統一できるのか。 ● 東京都レベルの人口規模があれば単年度のデータを採用すればよいが、西東京市レベルの人口規模の場合、年次変動を吸収できないため、単年度データを用いて比較できない。そこで、過去 5 年間の中央値をとることを考えている。
副委員長	● 同じものでないならば、東京都のデータと横並びにできない。誤解を招くため、掲載しない方がよい。
委員長	● 今回の指標は、東京都と比較してどうするというものではない。「参考値」ということが明確に伝わるよう表現を工夫すれば掲載してもよいが、あえて掲載する必要もないと考える。
委員長	● 年次変動が余りに大きい時は、中央値を採用するのが適切でない場合があることにも注意しておく必要がある。
委員	● 3 番目の目標の「健康な家族の支援」は、高齢者の「介護」のこと等は含まれないという理解でよいが。



副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「事後評価」だけでなく、基礎的データの収集や分析を位置づけることが必要と考える。推進方策というよりも、施策目標として取り上げる方が、より積極的な位置づけとなり、実行性が担保されると考えるがどうか。</li> <li>● 「基礎的な健康データの収集」は必要であると思うが、推進方策として別に位置づける方が、施策目標がはっきりすると思う。他の施策とは内容が違いため、施策目標に入れてしまうとかえって焦点がぼけてしまうのではないか。</li> <li>● 東京都等との比較できるような数字の把握・分析は重要であり、いずれかに位置づけは必要と考える。あわせて推進方策で取り上げるのがよいのではないか。</li> <li>● 「データの把握・分析」が重要であり、いずれかで位置づけることが必要である旨は了解した。現段階では仮に推進方策で扱うこととし、施策目標として取り上げるかどうかについては、今後の課題としたい。</li> <li>● 学校保健との関係を整理しておく必要があるのではないか。例えば、喫煙習慣や食習慣など、健康づくりに関して学校保健で取り組める内容は多い。</li> <li>● 学校保健、職域保健等もある程度含めるように考えたいが、学校や企業等の協力を得ながら行うことになるため、健診等、健康推進課が責任主体として行う事業とは異なり、位置づけにくいものも出てくるだろうと考えている。</li> <li>● 事業の責任主体が違うということは、計画の実行力に関わってくる。必ず実施すべきところと、他の協力が必要なものとは区別した方がよいだろう。</li> <li>● 責任主体が健康推進課であり、確実に推進できるものと、それ以外のものは、位置づけ方を変えて工夫したい。健康推進課以外のものは、学校や医師会など、調整・連携先とその内容を、可能な範囲で具体的に記載していくことを考えたい。</li> <li>● 以前、別の市の計画づくりに従事した経験がある。その際には、関係部署へのヒアリング等により、実行性ある計画づくりに努めた。</li> <li>● 関連部署のヒアリングについては、第1回委員会の前に一通り実施し、既存事業の現状や問題点についてうかがっている。来年度、計画の中で事業を位置づけていく場合、健康推進課以外の事業については、関連部署との協議を経て、実行できる部分のみ計画に位置づけていくこととなると考えている。</li> <li>● 特に10項目目の施設整備については、先日、市民から意見収集を行った結果、「行政には環境づくりを期待したい」という意見が出ていた。来年度は、施設活用等について具体的な検討を行っていくのが望ましい。市内に34の体育関連の団体があり、これらに対し、学校週休二日制に伴う児童のスポーツ支援要請が来ている。このような背景もあり、是非とも、施設整備に取り組んで頂きたい。</li> <li>● 市で新たに施設をつくるというような事は厳しい財政事情から困難と思われる。限られた財源の中で、民間設備の活用等も含めて、よりよい環境づくりのあり方を検討したい。</li> <li>● 「行政施策は、予算制約がある中で、優先順位をつけて考えていくことになる」ことなどを念頭において、来年の詳細な検討を行う必要がある。</li> </ul> <p>&lt; 中間報告書の構成について &gt;  資料1(10-11頁)と資料2に基づき、中間報告書の構成について、事務局より説明の後、主な討議内容は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 資料2については、策定委員会等の指摘を踏まえた補足説明や追加データが既に加わっているものか。</li> <li>● 既にある程度追記した部分もあるが、今日の検討も踏まえて、今後、更に追加する。何か追記すべき事項があれば、追って連絡頂きたい。</li> </ul> <p>&lt; 来年度のスケジュールについて &gt;  来年度のスケジュールについて、事務局より説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 守田委員が、都合により、来年度、委員を継続できなくなった旨の報告あり。後任の委員については、今後検討したい。</li> </ul> <p>&lt; 次回日程について &gt;  次回日程の第一候補は4月21日(月)、第二候補は4月25日(金)とする。欠席委員のご都合を確認した上、後日、事務局よりご連絡する。</p>
委員	
委員	
事務局	
委員	
事務局	
副委員長	
事務局	
委員	
事務局	
委員	
事務局	
委員長	
委員	
事務局	

